

# 宮崎大学医学部附属病院 内分泌・代謝内科 専門医養成プログラム

## 1. プログラムの概略・特徴

内分泌内科および代謝(糖尿病)内科は、内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野(第3内科)が担当し、卒後3年目以後の後期研修医が総合内科専門医としての知識や技能の習得、専門医資格の取得に必要な臨床実績や研修期間を得ることができます。宮崎大学医学部附属病院は宮崎県唯一の大学附属病院であるため、県内の医療機関から診断や治療に苦慮する症例が多数紹介され、市中病院で経験することが難しい興味ある症例を担当できます。内分泌内科は、間脳下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患、膝腫瘍、性腺疾患、骨代謝疾患を対象とし、内分泌外科、脳神経外科、産婦人科や泌尿器科と連携して術前診断やホルモン補償治療を行います。代謝内科は、糖尿病、脂質異常症、肥満症、メタボリックシンドロームを対象とし、眼科、外科や整形外科など院内の外科症例の周術期管理や県内から紹介される糖尿病性ケトアシドーシスの急性期治療を行います。24時間持続血糖モニタリングシステムやニューロメーターなどの最新の機器を用いて、個々の症例に適した細やかな治療方針の決定や合併症の評価を行うことができます。さらに、臨床と基礎研究を結びつける橋渡し研究としてグレリンの糖尿病性神経障害改善に関する臨床試験などを実施しており、臨床医としての幅広い知識と論理的な思考力を身につけることが可能です。

## 2. 研修目標

### 【一般目標】

内分泌内科:ホルモンの変動による身体所見や検査データの異常からホルモン作用異常を疑い、病態生理を考えながら内分泌検査を組み立てて診断し治療をすることができる。

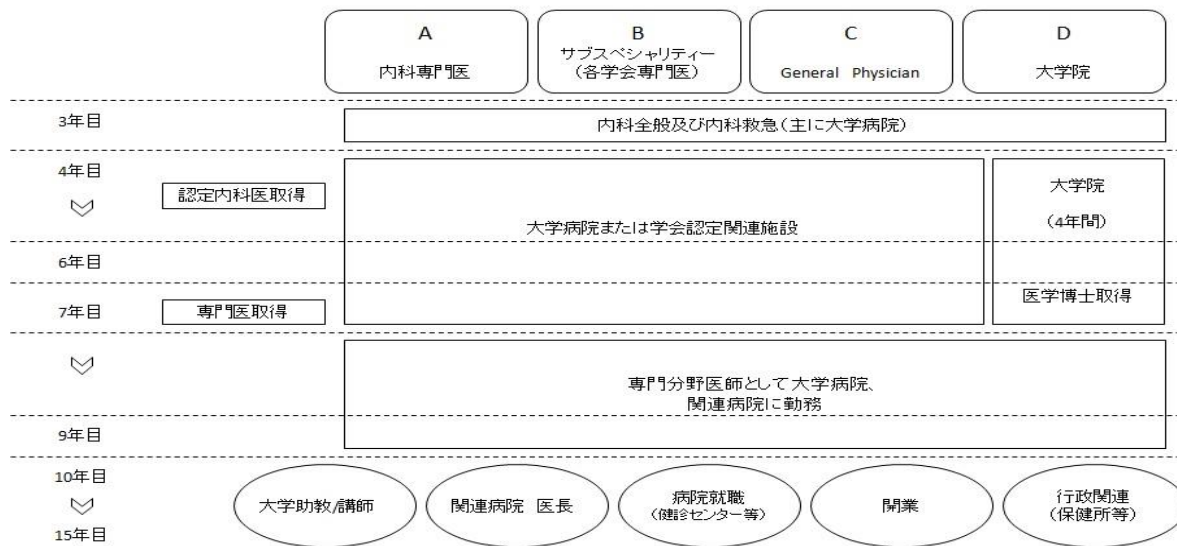
代謝(糖尿病)内科:糖尿病、脂質異常症、肥満症およびメタボリックシンドロームの適切な診断、生活指導や治療、合併症への管理など長期にわたる代謝疾患の診療を行うことができる。

### 【行動目標】

- ①各種ホルモンの生理作用の理解
- ②内分泌疾患の診断と治療
- ③糖尿病の診断と治療(生活指導など)
- ④糖尿病の合併症管理
- ⑤脂質異常症、肥満症、メタボリックシンドロームの診断と治療

## 3. 研修スケジュール

卒後3年目以降のキャリアデザイン



内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野では、卒後3年目以後の研修過程で、内科認定医・総合内科専門医、糖尿病専門医、糖尿病療養指導医、内分泌代謝専門医、甲状腺専門医、肥満症専門医および医学博士取得に必要なプログラムを準備しています。

#### 4. 評価

日本糖尿病学会糖尿病専門医、日本内分泌学会内分泌代謝科(内科)専門医や日本甲状腺学会甲状腺専門医、日本肥満学会肥満症専門医の取得で客観的に評価されます。糖尿病専門医は3年間、内分泌代謝専門医は4年間、甲状腺専門医は5年間、肥満症専門医は3年間当科での研修後に受験資格年数を得ることができます。

#### 5. 募集人員

4名(内分泌内科2名、代謝内科2名)

#### 6. 実施責任者

宮崎大学医学部内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野 教授 中里 雅光

#### 7. 指導責任者

宮崎大学医学部内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野 講師 山口 秀樹(内分泌内科)

宮崎大学医学部内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野 助教 上野 浩晶(糖尿病内科)

#### 8. 関連施設、学会認定状況

関連施設:宮崎県立宮崎病院、宮崎県立日南病院、古賀総合病院、古賀駅前クリニック、延岡市医師会病院

学会認定状況:日本内科学会認定教育施設、日本糖尿病学会教育認定施設、日本内分泌学会教育認定施設、日本甲状腺学会教育認定施設、日本肥満学会教育認定施設

#### 9. その他

待遇:附属病院勤務の場合は医員待遇(宮崎大学医学部附属病院 非常勤医師)となりますが、医局が斡旋する外勤や当直があり、経済的に保障されます。学会、研究会への筆頭発表者としての参加を積極的に勧めているため、国内外の出張旅費は発表者であれば回数に制限なく医局から支給されます。

#### 10. 連絡先

宮崎大学医学部内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野

TEL:0985-85-2965 FAX:0985-85-1869

内分泌・代謝内科担当 山口 秀樹

E-mail:yamahide@med.miyazaki-u.ac.jp